

3 師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙



2020. 9
NO. 134

第2次師団訓練検閲



各種訓練・行事

第2次師団訓練検閲
対空実射訓練
第2回特科隊訓練
部隊集合教育「レンジャー」

第3師団隊員紹介コーナー

スウィートライフ
師団戦士
我が部隊の新戦力
私の思い出の一品

みんなの架け橋

大阪地方協力本部

職場の豆知識

カタカナコトバ

表紙写真：第2次師団訓練検閲（第37普通科連隊）

第2次師団訓練検閲



編成完結
いざ出陣

師団（師団長 山根陸将）は、令和2年9月2日（水）から8日（火）までの間、あいち野演習場（滋賀県）及び青野ヶ原演習場（兵庫県）において、第37普通科連隊（連隊長 山田1佐）、第3施設大隊（連隊長 菅原2佐）及び第3通信大隊（大隊長 片山2佐）に対し、令和2年度第2次師団訓練検閲を実施した。

訓練開始式において、検閲官・山根陸将は、「状況の特質を踏まえ、各種戦闘力を組織化して与えられた役割を果たせ。」「計画・命令に基づいて行動し、所望の時期に、所望の能力を最大限に発揮せよ。」及び「安全管理を徹底せよ。」の3点を要望するとともに、「部隊長を核心として本検閲までに積み上げてきた練成の成果を遺憾なく発揮することを期待する。」と訓示した。



検閲官 山根陸将



第37普通科連隊に対する訓示



検閲官による任務等の確認

第3通信大隊



第3通信大隊長 片山2佐

第3施設大隊



第3施設大隊長 菅原2佐

第37普通科連隊



第37普通科連隊長 山田1佐



指揮所活動（大隊長：中央）



指揮所活動（大隊長：右）



現地指導（連隊長：左）



5夜6日に亘る任務を遂行

訓練検閲は、残暑厳しく、また、台風による降雨と泥濘の悪条件の中で行われた。受閲に当たり、第37普通科連隊長は「37戦闘団らしく戦え」、第3施設大隊長は「誇りの堅持」、第3通信大隊長は「ユーザーを最優先せよ」「確実な報告・通報」を要望し、それぞれ防衛準備を開始した。

各受閲部隊長は、自ら現場指導を行い、指揮官会議等により、企図の徹底を図った。また、各受閲部隊は、防衛陣地の構築、通信網の構成等を行い、防衛準備を実施するとともに、果敢な防衛戦闘を行い、与えられた任務を士気旺盛に遂行して、5夜6日にわたる検閲を終了した。



防衛準備間における指揮官会議（連隊長：前列右から4人目）（第37普通科連隊）



防衛戦闘間における射撃（5.56mm機関銃）（第37普通科連隊）



防衛戦闘間における射撃（12.7mm重機関銃）（第37普通科連隊）



防衛戦闘間における歩哨の直接警戒（第37普通科連隊）



防衛準備間におけるO7式機動支援橋による橋梁架設（第3施設大隊）



防衛準備間における演習師団司令部指揮所掩体構築の概成（第3施設大隊）



防衛戦闘間における地雷原の閉塞（第3施設大隊）



防衛準備間における信務所のAM通信（第3通信大隊）



防衛準備間における有線通信網の構成（第3通信大隊）



防衛戦闘間における野外通信システムアクセスノード運営（第3通信大隊）



8 1 式短距離地对空誘導弾ミサイルの点検



9 3 式近距離地对空誘導弾による射撃

た隊一価秀つ撃 実空訓夕に駒 れとな闘 実和海静日日は、
 しとのを・て必実射射練訓お内当たを練能本射2道内(月)は、
 たし対獲要臨墜射訓撃を練い及初。目度力訓訓年)対(火)令和
 。て空得撃み「訓練場重等てび、的向に練練度に空)まか2
 の戦し成、の練ににねにシ静東 と上係はに師お射でら年
 任闘、功見精で臨お、よミ内千 しをる、参団い撃の87
 務専師「事神はんけ静るユ駐歳 て図実対加等て場の月
 を任団の「を「だる内事レ屯・ 行る戦空し対、(間、
 果部唯評優も一。本対前|地真 わこの戦た空令北、1827



8 1 式短距離地对空誘導弾シミュレータ評価



1 5 5 mm榴弾弾着景況



1 5 5 mm榴弾砲FH-70による射撃

終日のをま察特し能射の撃 訓て(あ日(令長
 了間成演でか科て力に戦に訓練、滋い(土)和3
 しに果練のら中行向術お練を第賀(水)2高
 た亘をし一占隊わ上る行けは実2(野)から年特
 。る収て連領のれを任動る、施回)ま9月科
 訓め、の、陣、目務及特陣し科た科にお
 練、所動射地特的遂び科地隊。隊い
 を5望作撃偵にと行実隊攻。隊い



射撃指揮所における指揮活動



綱の登降(第36普通科連隊)



山岳登はん(第7普通科連隊)

を3隊にンてを能を質隊てな衛|一そ月長普(1(第
 を開力員に戦ンている目的をを及員教育隊教育日5科科(月)佐)7
 始の月員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科
 したの月員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科
 の限に員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科
 の界に員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科
 の挑に員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科
 戦力に員に能る。のと修と及と中本隊を、日(連)は)は長科科(月)は)は長科科



持久走(第36普通科連隊)

対空実射訓練

第2回特科隊訓練

部隊集合教育「レンジャー」

スウィートライフ

「新婚ライフ満喫」



第3偵察隊第3偵察小隊
3等陸曹 前川 卓哉 結貴 さん

今回は、第3偵察隊第3偵察小隊で勤務する前川 卓哉（まえがわ たくや）3曹・結貴（ゆうき）さんご夫婦へのインタビューです。

Q 出会は。

A 夫 飲みの席です。

Q お互いの第1印象は。

A 夫 よく笑うかわい子

妻 ムキムキマツチヨゴリラ！

Q お互いの好きな（尊敬する）ところは。

A 夫 常に前向きなところ。

妻 しっかりとしているところ。

Q お二人の思い出を教えてください。

A 夫 ハウステンボスへ旅行に行った事です。

妻 デイズニー旅行です。

Q プロポーズの言葉を教えてください。

A 夫 結婚してください。

妻 こちらこそお願いします。

Q 結婚式の思い出を教えてください。

A 夫 友人からのチャリディングの余興です。

妻 2人で上に乗せてもらいました。

Q 新生活の感想を教えてください。

A 夫 山あり谷あり

妻 喧嘩するけどそれ以上に幸せです。

Q 理想の家庭は。

A 夫 笑いの絶えない家庭

妻 幸せいっぱい家庭

Q お互いに一言

A 夫 これからもよろしく

妻 妻として母として頑張るね。



師団戦士

「陸曹としての責任感」



第3施設大隊第3中隊
3等陸曹 吉田 貴紀

今回は、第3施設大隊第3中隊に所属する吉田貴紀（よしだ たかゆき）3曹へのインタビューです。

Q 出身地、陸曹教育隊入校年度は。

A 京都府亀岡市出身、第135期、令和元年7月入校です。

Q 合格通知を受けた時の心境は。

A 陸曹となる目標の達成感、これからの不安、緊張感を覚えています。より気を引き

締めて教育に臨む決意をしました。

Q 印象に残っている訓練は。

A 総合訓練です。副分隊長及び組長を実施

して、小部隊の指揮官として実員指揮能力

の向上を図ることができた点です。

Q 特に苦勞したことは。

A 同期の中で一番若く、慣れるまで先輩の

方々の前で自分を出せなかったことです。

Q 特に学んだことは。

A 知識はもちろんのこと、陸曹としての責

任感を学びました。

Q 陸曹になっての心境の変化は

A 上司の意図を理解する重要性、陸曹とし

ての責任感、階級の重みを感じています。

Q 今後の部隊での目標は。

A 後輩隊員の育成に全力を注ぎ、施設陸曹

として各種訓練において経験を積んで、被

支援部隊の要求に合致した施設支援が完遂

できる施設分隊長を目指します。

Q 陸曹を目指す後輩隊員に一言

A 楽な道に流されず、何事にも挑戦し、頑

張ってください。

我が部隊の新戦力

「期待のルーキー」



第3通信大隊本部管理中隊
陸士長 岸本 健汰

今回は、第3通信大隊本部管理中隊システム管理班に所属する岸本 健汰（きしも とけんた）士長へのインタビューです。

Q 出身地、入隊年度は。

A 兵庫県南あわじ市出身、平成31年度入隊です。

Q 入隊の動機は。

A 人の力となり、人のためになる仕事が

したいと思ったからです。

Q 新隊員教育の区隊・班は。

A 第110教育大隊第332共通教育中

隊第4区隊3班です。

Q 新隊員教育での思い出は。

A 総合訓練で班の皆が一丸となって攻撃

目標を奪取したことです。

Q 現職務のやりがいは。

A 毎日新たな発見と学びにより、自分の

成長を感じられるようになった時です。

Q 現職務で苦勞していることは。

A 覚えることが多いのが一番大変です。

Q 尊敬（目指している）先輩は。

A システム管理班の先輩方です。班一丸

となり、仕事をやる姿に憧れたからです。

Q 営内での生活はどうですか。

A 優しく楽しい先輩方ばかりで、とても

充実した毎日を送っています。

Q 今後の目標を教えてください。

A 1日でも早く仕事を覚え、部隊の力に

なることです。

Q 最後に一言

A 家族、親戚、友人に「立派になった」と言われるような大人に成長したいと思

私の思い出の一品「手放すことの出来ない1本」



第3通信大隊第2中隊
陸曹長 落合 長政

今回は、第3通信大隊第2中隊前任上級曹長の落合 長政（おちあい ながまさ）陸曹長から手放すことの出来ない一本を紹介してもらいます。

私の思い出、手放すことのできない1本は、5年程前に、知り合いのギターショップで加工作成してもらった「ギブソン レスポール jr」というギターです。

これは、大好きなジョン レノンが使っていた「P-90」という「ピックアップ（弦振動を拾って電気信号に変換するパーツ）」が一つしか付いてないタイプのギターで、このボディに穴をあけて「チャーリー クリスマン ピックアップ」というパーツを無理矢理付けてもらい、結構な時間とお金をかけたものです。ギターが奏でる何とも言えないジャジー（ジャズミュージック）な音の虜になってしまっています。

「これさえあればいい」「これを眺めていたら、ウキウキする」と言った一品に出会えた時こそ「至福の瞬間」と言いますが、私の場合は、このギターだったのです。皆様にも是非そんな一品に巡り会って欲しいと思います。

